

キャッチフレーズは、「いにしえの人が愛した万葉の郷“中荘”」 ～自然を守り、いつまでも心豊かに住めるまち～ に決定

■第3回中荘地区まちづくり協議会ワークショップ開催

各大字から選出された委員をもって、第3回中荘地区まちづくり協議会ワークショップが平成28年12月2日（金）午後7時から宮滝河川交流センターで開催されました。

－ 次 第 －

1. 開会
南阪本中荘区長会長挨拶
奥出吉野町総合政策課長挨拶
2. 行政側紹介
3. キャッチフレーズの報告
4. 活動内容と今後の計画について
5. 事務局の設立について



南阪本区長会長及び奥出町総合政策課長挨拶のあと、行政側の出席者が紹介され、次に、山本宮滝自治会長から、中荘地区の将来像、将来の姿の「キャッチフーズ」についての検討報告がなされ、C班に他の班を合体させた「いにしえの人が愛した万葉の郷“中荘”～自然を守り、いつまでも心豊かに住めるまち～」に決まりました。

〈赤井田氏からの説明模様〉

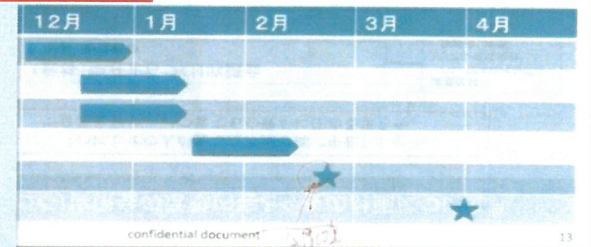


次に、各委員から提出されたアンケート調査内容を踏まえて作成された「中荘まちづくり協議会の活動内容と今後の計画について」が赤井田氏（ハレノヒAMSインダストリアル株式会社）から説明があり、その内容について活発な討論がされた結果、内容が承認されました。

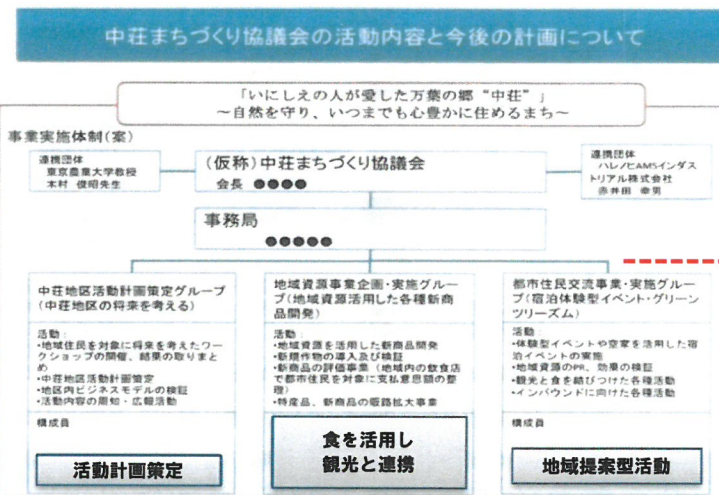
その申請書を来年2月末まで提出するため次のスケジュールが提示され、このスケジュールを進めることになり、事業実施するうえで協議会で足りない連携団体も議論されました。

申請書提出までのスケジュール

- ①事業内容の決定
- ②協議会の形成
- ③事務局、専門部会の形成
- ④申請書（案）の作成
- ⑤申請書の提出
- ⑥採決の可否



「中荘まちづくり協議会の活動内容と今後の計画について」は、あくまでも「農林水産省の補助金（農山漁村振興交付金）」を活用して地域づくりを実施する枠組みであり、今後、



中荘地区活性化のためにみんなで知恵をだしあい内容が加味されていく事になります。